

平成27年度 第2回宗像市総合教育会議議事録

【日 時】 平成27年8月27日（木）午前9時30分から午前10時53分

【場 所】 宗像市役所本館 3階 304会議室

【出席者】 宗像市長 谷井博美
教育委員 川上美子
教育委員 中岡政剛
教育委員 宮司葉子
教育委員 白石喜久美
教育長 遠矢修

【その他の出席者】 教育子ども部長高橋勇次、子どもグローバル人材育成担当部長清水比呂之、市民協働環境部長福崎常喜、文化スポーツ担当部長鶴英樹、市民協働環境部理事兼文化スポーツ課総合スポーツセンター建設準備室長磯部輝美、教育子ども部主幹指導主事齊藤智恵美、教育政策課長の野仁視、秘書政策課長長谷川勝憲、学校管理課長竹下俊史、子ども育成課長中野万由美、図書課長長谷川愼、文化スポーツ課長岡田光晴、郷土文化課長柚木寿義、コミュニティ協働推進課長瀧口健治、コミュニティ協働推進課参事村上治彦、経営企画課世界遺産登録推進室長徳永淳、教育政策課政策係長許斐知加、秘書政策課秘書政策係長飯野英明、教育政策課政策係企画主査舩越健樹、教育政策課政策係主事川原由梨乃、教育政策課政策係主事八木孝平

※傍聴 1人

1 開会

【教育政策課長】 みなさんおはようございます。定刻になりましたので第2回宗像市総合教育会議を始めます。

【谷井市長】 今回2回目になりますけれども、今日の議題はお手元にある通りでございます。一番大事な宗像市教育大綱を第1回目にご提案しましたけれども、これを決めたいということでございます。併せまして、世界遺産関係で『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群が国内推薦候補と決まりましたので、学校教育上げ子どもたちに教育という形の中で議論したいという事でございますのでよろしくお願ひします。

【教育政策課長】 本日は協議事項が2点あります。では、協議事項1番目の宗像市教育大綱案についてです。

2 協議事項

(1) 宗像市教育大綱（案）について

【教育政策課長】 前回大綱のたたき台をお示していたところですが、前回の会議の後、特に修正等についてのご意見はいただいておりませんが、事務局側で一部修正を行っております。修正箇所につきましては7ページと8ページの下線の部分です。7ページにつきましては上から5行目の部分にこの文言を挿入しております。それから同じく8ページ下から2行目の部分も新たに挿入しております。それから8ページにつきましては、1行目2行目の部分、文言修正をしております。それから6行目の部分、ここも文言の修正を行っております。この部分につきましては前回7月22日に案を提示させていただきまして、庁内より指摘のありました箇所について訂

正しております。

また7月28日に『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」が、世界文化遺産国内推薦候補に決定したことに伴い、世界遺産関係の文言を修正しております。それから全文を読み上げさせていただきます。内容の最終確認とさせていただきますと思います。それでは、事務局お願いします。

～大綱案読み上げ（事務局職員）～

【谷井市長】 教育大綱全文を読み上げていただきましたけれども、これから質疑という事になるのですが、先にこれをお示しした段階で、ご意見がなかったという事なんですけれども、この場でまた何かございましたらお願いしたいと思います。それから先ほど申しましたように、今日決定したいと考えております。どなたでも結構です。宜しくお願いします。この大綱は1回目でも議論しましたけれども、教育委員会の教育施政方針を全部盛り込まれて集約した形になっております。

【中岡委員】 9ページの「生涯を通して学び、その成果を・・・」の1行目ですが、「表現力を高め」のそのあとですが、「創造力」という言葉を使っています。これは漢字で「創造」という形を使っていますが、これが、7ページの方に戻っていただきますと、4番の目標のところになります。お互いを尊重し「そうぞう力」をもってという事で、個々の部分では、ひらがなで「そうぞう」と示されています。この違いに意味があるのではないかなと感じておりますが、教えていただきたいと思っております。

【子ども育成課長】 子ども育成課中野です。グローバル人材育成に向けては、4月より宗像市グローバル人材育成プランを策定し施策を進めています。その中で宗像市が目指すグローバル人材の設定という事で、人材像の設定を、お互いを尊重し、創造力をもって世界とコミュニケーションができるとしております。その中で「そうぞう力」をひらがなで表記しております。その「そうぞう力」の「そうぞう」は、創る「創造」と、想う「想像」と、むなかたの「宗像」この3つを表わしております。

【谷井市長】 いろいろ意味があるという事ですね。

【子ども育成課長】 はい。

【中岡委員】 大事なことですね。

【谷井市長】 ほかに何かございますか。無いようでしたら、これでよろしいですか。決めたいと思っておりますけれども。

【各委員】 はい。

【谷井市長】 それでは、これで、宗像市教育大綱を決定とさせていただきます。

【教育政策課長】 はい。この後議会に報告し、市民に公表という形になります。

【谷井市長】 この点につきましては議会に報告をしますが、当然議員の中から色々な意見や質問が出てくると思います。いろいろと意見質問が出ましたら、それは、ここで決める形がいいと思います。あくまでも、教育大綱は議会ではなくここで決めるので、そこは確認しておきたいと思いますが、いいでしょうか。それから市民その他にはネット等で出すようにお願いします。それではこの項目につきましては終わらせていただきます。

【教育政策課長】 それでは続きまして協議事項の2項目目、「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界文化遺産国内推薦候補に決定について入ります。

（2）『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界文化遺産国内推薦候補に決定について

【教育政策課長】 初めに市長が提案説明をいたします。

【谷井市長】 このたび『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界文化遺産国内推薦候補に決まったという事でございます。正式には29年の7月ごろユネスコで審査されて世界遺

産登録という事ですけれども、この2年間で大事な時期になります。私としては、市内の子どもたちにはぜひこの宗像がもつ素晴らしい財産、遺産について、学習を深めてもらいたいという強い思いがあり、これから誇りを持って成長していただきたい。ここを卒業して、どこにいても郷里宗像に誇りを持って忘れないでほしい。このことが子どもたちにとって、成長して社会人になって必ずプラスになると考えます。そういう事から、特に子どもたちへの取組みについて教育委員の皆さんと意見交換したいと考えて、提案させていただきました。どうぞよろしくお願い致します。

【教育政策課長】 それでは、意見交換に先立ちまして、今回国内推薦候補となった遺産について、今一度概要を委員の皆さんにご説明申し上げます。説明は、世界遺産登録推進室室長の徳永が行います。

【世界遺産登録推進室長】 説明はスクリーンをご覧ください。先ほど市長の話にもありました7月28日に、文化審議会におきまして平成29年、2年後の世界遺産登録を目指す候補として私どもの『『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群』が推薦されました。平成14年に民間の運動として始まり、市民の皆様、企業の応援をいただきながらやっとここまでたどり着いたところです。今からの2年間これは本登録に向けた次のステップに立つことができたという事で、今から2年間この価値を広めていく活動をしていかななくてはならないと思っております。その前にお手元の「神宿る島」という金色のパンフレットの最終頁をお開きください。この右側に私どもの遺産構成を掲載しております。真ん中上に沖ノ島ですね。ここはもう島全体が信仰の島となっております、大陸との交流の中で行われた4世紀から9世紀にかけて行われました祭祀の古代遺跡、こういったものが禁忌と共に現代まで守り伝えられてきたという事で一つ上げられます。この沖ノ島には通常渡ることができませんので、大島に沖津宮の揺拝所があります。沖ノ島を遥拝する場所として信仰の対象とした生きた伝統を伝える施設となっております。宗像大社の中津宮では、沖ノ島で行われていた祭祀が形を変えてこの中津宮でも行われまして、ここにも古代祭祀遺跡があります。宗像大社辺津宮、沖ノ島の沖津宮、大島の中津宮の3つを総称して宗像大社と言っております。辺津宮も構成資産の一つです。福津市にあります新原奴山古墳群、ここは沖ノ島を中心に活動してきた宗像族のお墓であろうといわれている古墳群です。この5つを構成資産としております。世界遺産というのは「国や民族を超えて人類が共有する顕著な普遍的価値を有する遺産」と位置付けられております。どんなことかといいますと、国家間の境界を超越し、人類全体にとって、現在および将来世代に共通した重要性を持つような突出した文化的な意義、及び歴史的自然的な価値を持つものというもので、沖ノ島がどうして素晴らしいのか、世界的な顕著な普遍的な価値を持っているのかは、文化庁が会見した時の発表によりますと、「古代祭祀跡がほぼ手つかずの状態で見守られ、現在でも神聖な島として実在していることは世界的に見ても顕著な事例である。昔から行われていた祭祀の跡が今に至るまでほとんど手がついていない状態で残っている」これは価値があるという事で世界遺産候補として文化庁から推薦が取れたという状況です。それで沖ノ島をはじめとする構成資産群特に沖ノ島は、渡島ができないという事で世界遺産ミニガイド施設という事で「海の道むなかた館」があります。ここで沖ノ島の立体映像を紹介したり、沖ノ島がどういう位置づけだったかという歴史の年表と一緒に掲示しております。来月9月からは毎年「オガチマンス」と言いまして、この「オガチ」というのは沖ノ島を繁殖地とする海鳥で正式名称「オオミズナギドリ」のことで、10月1日から3日まで行われます宗像大社秋季大祭の前の月をオガチマンスとして世界遺産をみんなで盛り上げるため様々なイベントを実施しております。沖ノ島にまつわる子どもたちのミュージカル、釣川のいかだ下り、宗像大社の境内におきまして宝探し、それから宗像大社から神湊にかかる道路に灯籠を設置するという事も行っております。市民の皆様や企業が応援をしてくれています。トヨタ自動車を持つ塗装技術を使って市のバスに沖ノ島の絵をかいてくれたり、ご当地ナンバープレート、これは市が準備したものを宗像郵便局が全車両につけてPRしてくれたり、宗像市内のタクシーが応援のメッセージをつけてくれています。さらに、キンピールが世界遺産の応援缶というのを作ってくれていま

す。ヒューレットパカードというパソコンの会社なのですが、ここは企業CMに宗像を取り上げていただいて、さらに新聞広告でもこの新聞とかCM広告は全国ネットで反響をいただいております。地島わかめを使っためんべい、トヨタ自動車九州が作成していただきました巨大なパネルが市役所の一階に置いております。このように企業の皆さんの応援もいただいております。5月16日に文化庁の長官が宗像の構成資産を視察に来ました。大島では文化庁長官を大歓迎で出迎えてくれました。沖ノ島にまつわる話を子どもに理解してもらいたいという事も含めまして、漫画を作っておりますが、文化庁からこういう取り組みはとても面白いと評価をしてくれています。文化庁の講演に先立ちましてミュージカルも短縮版を披露しました。子どもたちがこの世界遺産のことを理解して活動しているというのはすばらしいという評価をいただいております。こういう資産の価値というのは勿論ですけれども、市民の盛り上がりも評価の対象になったのではないかと考えております。

海の道むなかた館では、写真家阿部信二さんの写真展を実施しました。宗像大社で大島中津宮、辺津宮神宝館ともに無料のガイドさんを配置しております。これは9月まで、土日祝日実施いたします。福岡県外からも多くの方が訪問されています。やはりこの世界遺産というブランド力はすごいなという事を感じております。国内推薦候補になったという事でやっと次のステップに行けるんですけれども、今から処理すべきこと、調整しなければいけないことが本当にたくさんありますので、また気を引き締めて事務を進めたいと思っていますところでは。

【谷井市長】そこで今日の課題であります、こういった世界遺産候補になったという事で、学校教育にどう盛り込んでいけるのかを我々の議論にしていきたいと思っております。

【川上委員】宗像が誇る美しい遺産だと思います。今回ニュージーランドに行ったときに子どもたちニュージーランドの生徒たちに沖ノ島に関して英語で説明いたしました。ただ子どもたちの意識の中で世界遺産の候補として挙がっている沖ノ島の浸透率を考えますと、面接時の子どもたちの反応でニュージーランドで宗像市を自慢するとしたらなんだろうかと審査員が質問されたときに、沖ノ島が世界遺産になりそうですと答えた子は2名ほどしかおりませんでした。子どもたちの中でこれを誇りに思うというところまでは意識付けができていない現状があります。ただ、この後に候補として決定したので、ここはマスコミ等の外部からの情報として入ってきた可能性はあると思いますが、やはり保護者を絡めた何らかの意識付けは必要かと思っております。宗像の良いところは、人が優しい、自然が美しい、食べ物おいしいと言うのですが、そこに歴史が長く誇り高い文化があるという事までの意識付けを何らかの形でする必要があると実感しています。

【谷井市長】今回こういう事になって驚く人もいます。そんなものがあつたのかという。7月28日に発表された後、マスコミその他で放映された後は非常にいい反応がありまして、先ほど言いましたように県外からもお見えになるんですね。川上委員が先ほどおっしゃったのですが、子どもたちが知らない、十分理解していないというのは当然なのですね。ですけれども、どこにでもあるわけではないのです。宗像にしかないのです。「世界に1つしかない」これを徹底して教えたい。川上委員がおっしゃったように実態はそうだろうと思っております。

【中岡委員】推薦候補決定という報道があり、副市長が挨拶されているという場面を見ました。非常に誇らしく思ったことを思い出します。この総合教育会議で先ほど決定いたしました教育大綱も29年度までという事で、世界遺産決定後、7ページから8ページの部分で少し変わるところが出てくると思います。また、学校教育の中の取り組みをどうしていくのかも決定されましたら、しっかりと考えていかなければいけないと思います。日本国内だけでなく世界から多くの方が宗像へ来ていただくような取り組みをしないといけないと思っておりますし、子どもたちにとってはグローバル人材の育成という視点で、大切なものになるのではないかと考えています。子どもたちに各地域で祭りも含めてボランティアガイド的な取り組みをさせている学校もあります。神宝館にもガイドの方がいらっしゃいますが、子どもたちがそういうガイドをし、外国の人を相手にコミュニケーションがとれる英語力を身につける機会とすることも大事ではないかと思いま

す。小学校で地域との協働という事を言っていますが、この世界遺産を大きな柱にして、地域で子どもたちを育てる取り組みに沖ノ島関連遺産群を上手くリンクさせていくことで、地域の教育力が高められることが期待できると思っております。

【谷井市長】 ありがとうございます。これを学校教育だけじゃなくて社会教育といえますか、地域との連携、一体感がいいですね。

【白石委員】 一番気になるところは川上委員や中岡委員が言われたように、子どもたちにどう浸透させていくかという事が今後の大きな課題になってくると思うんですけども、具体的にどんな形で今後市民の皆さんへ浸透していく過程がすごく楽しみです。この2年間はそういう素晴らしい時期になっていくのではないかなとワクワクしつつ、興奮もしているんですけども、すべての子ども達に浸透する方法を模索できればと考えております。

【宮司委員】 ニュースで報道されている時に、ちょうど子どももいたんですけども、小学校の子どもが「え？何」とやっぱり知らなかったんですね。宗像の中にこういう素晴らしいものがあるんだよというのを常に教えて見せて、6年生だけじゃなく、もっと低学年からそういうのを見てどんどん高学年になってそれをより理解していくという事ができたらみんなが知っていくのではないかなというのは思いました。

【谷井市長】 世界遺産候補が宗像にあるという事でこれから故郷への愛着とか誇りを持って交流を深めてもらいたい。2年間で準備をして、世界遺産になりますと世界からたくさんお客さんがやってくるわけですから、学校教育の中でもやっていかなければならないと思っております。

【教育子ども部長】 教育委員会といたしまして、宗像大社のご厚意で最初は8月いっぱい神宝館入場料、高校生以下を無料という事で、取り組んでいただいております、ただ夏休み期間でもありますので、子ども達に周知ができないという事で大社と打ち合わせしまして、この無料化を9月30日まで延長していただいております。2学期早々にチラシを約8000枚印刷し市内の児童生徒・保護者に周知するという取り組みをしております。もう1つは今回記念事業で10月1日から年度末まで1学校1取り組みとして、予算の範囲で神宝館見学をさせたいと考えております。全児童生徒に見せたいのですが、予算の都合がございますので、約1000人の子ども達を学校から引率をして観光ボランティアさんからその国宝の説明を受けるという取り組みをしたいと考えております。教育委員会としてはこれからまた企画をしていこうと思っております。

【子どもグローバル人材育成担当部長】 グローバル人材の立場からの話ですが、ひとつは今宗像ボランティアガイドの学生さんが、それぞれのイベントに応じて募集をかけまして、かなり参加しているという状況があります。この宗像ボランティアガイドというのは基本的には英語を用いて海外の人に文化的なところの説明をしていくという趣旨のガイドになるわけですが、そういう機会を今後増やしていきたいというのが1つです。それぞれの歴史を語るための拠点というのが海の道むなかた館、田熊石畑遺跡、それから赤馬館ですね、そこもやはり伝統的な文化歴史を伝える場所として非常に有効な拠点になってきていると思っております。その中で後は子どもたちに沖ノ島とか世界遺産に対してきっかけづくりをしていくかというのは、先ほど漫画が非常にいい例として挙げておりますけれども、今後グローバル人材としましても沖ノ島をテーマにした絵本作りを、子どもたちにさせながら、きっかけづくりになる手段を講じていきたいと思っております。

【谷井市長】 まだこれから色々と検討していかななくてはならないこともあると思っておりますけれども、また皆さんからいろんな意見を引き出していただきましてとりあえず2年間大綱の中の趣旨を実現すること、そして世界遺産本登録もありますので、これからまた皆さんの意見を聞いていきたいと思っております。

【白石委員】 小さなお子さんには絵本と一緒にゆるキャラあたりも連れて行ってもらえると思うといいかと思っております。

【教育子ども部長】 いいアイデアですね。今三女神のゆるキャラが幼稚園保育園を訪問するという事業も事務局の方で確認したいと思っております。

【遠矢 教育長】 今日、各教育委員さんから様々なご意見いただきました。また市長からそういった子どもたちの中での故郷学習の進め方についてご要望がございました。やはりグローバル人材との関係でも先ほどニュージーランドのことについても言われましたけれども、グローバル人材の行方と故郷地域に愛着と誇りを持つという事はコインの表と裏の関係で切っても切り話せない関係だと思しますので、これについては教育委員会に持ち帰って今後こういった形で学校教育の中で故郷学習を進めさせていくかということについて十分議論して学校とも話をしながらきっちりとしたやはり宗像に愛着と誇りを持った子どもを育成するという視点に立っていろいろな施策を考えていきたいと考えているところでございます。

（３）その他

【教育政策課長】 その他、何かございますか。

【各 委 員】 特にありません。

3 閉会

【谷井市長】 それでは、第2回宗像市総合教育会議を終わります。次回は10月21日（水）に開催予定です。議題は追ってご連絡いたします。